

橿原市第4次総合計画後期基本計画・「日本国はじまりの地 橿原」未来戦略に係るパブリックコメントのご意見要旨と本市の考え方

番号	考え方の視点となる項目	ページ数	ご意見内容の要旨	本市の考え方
1	基本計画	-	橿原市第4次総合計画後期基本計画(案)拝見しました。市として取り組まなければならない案件が、まさに総合的に網羅されていると思います。ただ市としても予算は有限です。優先順位を付け1つずつ着実に解決していくことが肝要かと思ひます。私が考える優先順位を順に述べたいと思います。 まず1番目。基本計画でも最初に挙がっていますが、子育てしやすい街が第1です。その施策のための施設制度の拡充にまず予算を使うべきかと思ひます。そうすれば人口減少の歯止めの1つにもなるかと思ひます。 基本的に橿原市は奈良県南部東部地域にも比較的便利な位置にあります。現在北端である奈良市に県庁があり、南部等の人には大変不便です。橿原市に本来県庁等の行政の中心を置くことが、奈良県全体の利便性としても当然かと思ひます。歴史的に大阪に依存してきた経緯から仕方のない現状ではありますが。行政施設の移転誘致を進めるべきかと思ひます。 次に心身ともに健康に暮らせる街です。そのための施策としては、スポーツ施設の充実、文化コミュニティ施設の拡充。これにより、子どももそのママ、パパも、高齢者も心豊かに、身体も健康に暮らせる街をめさせます。そして、大阪に頼らず奈良県の中心として機能するためには、働く場の創設、誘致です。これは企業の利益が絡むので、市が独自で頑張れないので大変難しい問題かと思ひます。でもやらないと人口減少にも歯止めがかかけられないと思ひます。 そして、命に関わる問題の防災です。やらないわけにはいきませんが、ありがたいことに橿原市は自然災害がおこりにくい地形ではあります。油断はせず、調査分析は必要ですが、少しずつで仕方がないのではないのでしょうか。観光について。観光は当たれば、一時的には収入増になりますが、浮き沈みが大きく永続性は中々困難ですし、ブームの時もインバウンドなどで様々な問題も生じます。観光は奈良市に任せましょう。予算は使わず。ただ市内の観光関連業者の手当ては必要になります。	ご指摘のとおり、限りある財政状況のなかで、優先順位をつけて、最適な形で事業を遂行していく必要があり、ご意見の内容も非常に重要であると考えます。今後の市政の参考にさせていただきます。
2	基本計画	-	計画案を一応読ませていただいた上の意見です。この世に生を受け80年八木町時代からの橿原市を振り返り本案にとらわれず記述することをお許ください ①畝傍駅保全について 畝傍駅がどこの管轄であることの以前に橿原市として畝傍駅の歴史的遺産の保全に取り組まないことは歴史遺産を今まで粗末に扱っていた証拠でしょう。駅前広場の有料駐車場になっていること。橿原神宮碑に自動販売機が隣接していること。旧国鉄の団体待合所跡も公用車の駐車場にいつの間にか削り取られていること。駅舎保全の民間団体が考える前に貴賓室の解放の歴史的意義の全国的なキャンペーン。待合室の有効利用。市庁舎云々より差し迫っていませんか？ ②晩成小学校の登下校の安全について 停年後18年間晩成小学校の登下校の安全ボランティアを続けているが、校門からJR踏切までの街並みの朽ち果てていくのを毎日見て児童が登下校中地震が起こった時に家屋からの瓦の落下が怖い。側溝にふたがなかったり道路側と宅地側の段差で児童の登下校の安全が確保できない。校門前からJR踏切まで登校時間帯のわずか30分間だけでも車両通行止めにはできないのか。 ③飛鳥川の治水と浸水対策について 飛鳥川の治水と浸水対策の所轄官庁がどこであれ、災害が起こる前に考えていただきたいのが、人道橋から橿原橋までの堤防の改良や補強が私の生きている80年間何もされていない。川床の浚渫は数度されてはいますが堤防決壊や溢水対策が心配。堤防決壊や溢水での出水の行方はどのように対策されているのか。用水路の暗渠が増えて水はけができるのか。八木駅北側は以前は水田でその水をためていたのは知っているが、水田がなくなった今、ハザードマップに浸水域を示す前に浸水しない対策を立ててほしい。 ④人道橋・橿原橋間の飛鳥川堤防の桜並木について 私の幼少期に苗木で植えられた桜の木は私の人生とともに成長し、毎年美しい桜を咲かせていますが、近年カミキリムシの寄生で倒木の危険も考えられます。通行者に事故が起こらないうちに処置をしていただき、美しい桜並木を維持管理してください。 ⑤街並み保全について 下つ道の風情は小房区域と井戸の辻から近鉄踏切までと少なくともどんどん新改築され旧街並みがなくなりつつあり、寂しく思ひます。今井町のようなお金はかけられないのはわかっていますが、せめて映像に残し、誰でもが昔を偲べる対策はできないのでしょうか。お隣の高田市はホームページ古い高田の風景がにたくさん掲載されています。世界遺産登録に前のめりになっているのでは。 ⑥晩成小学校に外側から少し関わらせていただいています。近年コミュニテイスクール構想で学校・保護者・地域の連携が希薄になりがちな関係の強化が考えられ、将来を見越した考えと感じています。素晴らしいとは思ひますが創意工夫し、実践しても深まらないように思ひます。教師の働き方改革の考えからの先生方の自由度が狭まり、「ここから先はできません。ここからは外部の人は踏み込まないで下さい」といった考え方はき違えや、保護者は家族の生活と子供の将来と蓄えに頭がいっぱいでコミュニテイスクール構想についていけない状態では、文科省の構想は絵に描いた餅でしかありません。50年・60年と後戻りはできなくても、地域ぐるみで次世代の担い手の子供たちをはぐくむ工夫を考えたいです。 ⑦愛宕まつりについて 八木の愛宕まつりは私の幼少期より毎年楽しみのお祭りでした。以前からいろいろな問題点が指摘され、私も自治委員といてすこし首を突っ込んだので言いたひのですが、ここ20年程よくもまあ同じことの繰り返しでその場限りの催物で終わり、多額の市からの補助金が出され、お祭りが終われば次年度のへの申し送りや反省会計報告もなくおしまひ。TVで伝えられる各地方の伝統的なお祭りのように八木の愛宕まつりがなぜ継承されないのか不思議でなりません。 ⑧畝傍駅から井戸の辻間。郵便局から医大前交差点間の国道の拡幅橿原市街計画の最重要点だと思ひます。早急に実現していただきたい。 以上思ひつくままに羅列しましたが、八木に生まれ育ち、八木を愛する一市民の声として受け止めていただきたく思ひます。	ご指摘の件につきまして順番にご回答いたします。 ①JR畝傍駅の駅舎は昭和15年の紀元2600年記念事業の一環として建築された貴賓室を有する重厚な社寺風建築物であり、市を象徴する誇るべき存在と認識しています。現在、駅舎及び駅周辺の保全・活用を図るよう検討を進めています。 ②一般の住宅や土地に関しての関与は難しい面もありますが、カーブミラー等の交通安全設備の整備や路面標示に関して取り組んでまいります。また、交通安全教室やドライバーに対する交通安全啓発、空き家等の適正管理の促進に努めてまいりたいと考えております。それぞれ、「15交通」「16道路・橋梁・河川」「17住環境・建築」にて記載しております。 ③雨水につきましては「16道路・橋梁・河川」で記載しておりますが、水田が少なくなるなかで、雨水路や貯留施設のの整備や、浚渫などを実施して参りたいと考えております。具体的な内容については実施計画等に表現して参ります。 ④並木道等の安全につきましては、「16道路・橋梁・河川」にて記載しておりますが、市道はもとより、国や県とも連携しながら、適切な維持管理に努めたいと考えております。 ⑤景観については、「22まちづくり・景観」にて記載しておりますが個性に応じた景観形成を行うために啓発やPRを進めていきたいと考えております。街並み保全についても、本市特有の歴史的資源は世界遺産だけではなく、旧い街並みも歴史的資源として将来に残すべく、対策を講じていきたいと考えております。 ⑥コミュニテイスクールにつきましては、「4生涯学習・社会教育」で記載しておりますが、学校と地域住民が協働し、子どもたちを育んでいくことは、非常に重要と考えております。ご意見いただきました通り、今後も創意工夫が可能な土台作りに努めて参ります。 ⑦地域のお祭りに関しましては、「24観光・交流」に記載しておりますが、ご指摘のような問題点等もあろうかと存じます。今後も文化の継承のためにも、地域とのコミュニケーションを図りながら、協働して参りたいと考えております。 ⑧国道の拡幅等につきましては、「16.道路・橋梁・河川」で記載しておりますが、費用対効果等の観点から最適な整備を行うよう、国や県に対し働きかけを行って参りたいと考えております。

番号	考え方の視点 となる項目	ページ数	ご意見内容の要旨	本市の考え方
3	基本計画	34	橿原市らしい講座とありますが、具体的にはどのような講座があるのでしょうか。	まほろば歴史講座という歴史に関する講座を実施しています。
4	基本計画	34	公民館のイベント等の情報発信とありますが、どのような手段で実施されるのでしょうか。	市の広報誌やホームページ、インスタグラムなどのSNSを活用し、幅広い世代に情報が行き届くよう努めていきたいと考えております。
5	基本計画	34	新規の団体が活動できる仕組みづくりとありますが、具体的にどのような仕組みづくりを検討されていますか。	様々な広報媒体を活用し積極的に情報発信を行うことで、広く市民に活動内容を伝え、新たなニーズや活動を生み出すきっかけ作り、並びに、新たな活動を行なおうとしている団体を支え、継続的に活動していくための人材育成ができる仕組みづくりを考えています。
6	基本計画	49	施策分野「12. 人権」の現状において、奈良県の女性就業率が全国最下位であることが認識されています。女性が個性輝くまちで活躍するためには、職場環境の改善が不可欠です。ところが最近報道された奈良医大の事案(https://voiceofnara.jp/20250824-news1224.html)に見られるように、多忙で余裕のない環境下でのハラスメントが、出産・育児というライフイベントと重なり、女性医師のキャリアと健康を深刻に脅かしました。市民としてこのようなニュースが全国に知れ渡ってしまうことはただただ腹立たしく、市は県とも連携し、ハラスメント防止のための啓発活動において、ハラスメントの啓発を徹底させ、加害者の「悪意の有無」を免罪符としないよう、市内事業者に向けた具体的な啓発・指導を強化すべきです。市内でこのような恥ずかしい事案が二度と発生しないような取り組みを求めたいです。これにより、女性が安心して働ける環境を地域全体で実現し、計画の目指す姿を達成することが可能となります。	ご指摘の事案につきましては、大変痛ましいことであると考えます。このようなことが起こさせないためにも、市といたしましてもハラスメント防止の啓発等を行い、女性の社会進出が安心して行えるように努めて参りたいと考えております。なお、具体的な取り組みについては実施計画等で表現して参りたいと考えております。
7	基本計画	59	公営住宅に入居しやすい住環境を整えてほしい。	公営住宅は公営住宅法に基づき国と地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、国民生活の安定と、社会福祉の増進を目的にしております。また、この法律に基づいた橿原市営住宅条例等により、入居者の資格、公募の方法、選考等が示され、市といたしましてもこれらを遵守して運営しています。今後もいただいたご意見を踏まえ、住宅に入居しやすい環境を整えて参りたいと考えております。
8	基本計画	-	京奈和自動車道橿原高田JCT～五條西IC間の4車線高架橋桁整備を取り上げますか。	ご指摘の京奈和自動車道につきましては、「16.道路・橋梁・河川」で記載しておりますが、費用対効果等の観点から最適な整備を行うよう、国や県に対し働きかけを行って参りたいと考えております。
9	基本計画	-	産業用地造成の整備を取り上げますか。	ご指摘の産業用地造成につきましては、「25. 商工業・しごと」で記載しておりますが、未利用の市有地を活用するなど、産業用地の整備について検討して参りたいと考えております。
10	基本計画	-	倉庫用地造成整備や京奈和自動車道一般道の一町工区4車線化拡幅整備を取り上げますか。	ご指摘の倉庫用地造成整備につきましては、「25. 商工業・しごと」で記載しておりますが、倉庫用地等の立地については、未利用の市有地を活用するなど、産業用地の整備について検討して参りたいと考えております。京奈和自動車道につきましては、「16.道路・橋梁・河川」で記載しておりますが、費用対効果等の観点から最適な整備を行うよう、国や県に対し働きかけを行って参りたいと考えております。
11	基本計画	-	中学生、不登校の子供をもつ親です。 不登校児も安心して暮らせる橿原市にしたいです。 ①不登校児のケア場所の充実 学校に行くという事は、勉強を一定のレベルまでしないといけない。成績で自分の価値が決まる事に取り組めないようで、欠席が続いています。 ②そこに出席すれば中学校が出席扱いになる仕組みを作ってほしい(奈良県の他市町では既に取り組まれているようです) 私も働いている為、日中家で一人で過ごしています。働く事を辞めて私ที่บ้านに居る事も考えましたが、他兄弟(子供は3人います)にも費用はかかり、家計を考えると辞めることは難しいです。 どうか、このような子供にも未来がみれる町づくりを切望致します。	ご指摘の不登校児のケアにつきましては、大変ご心配のことと推察いたします。「2. 学校教育」で記載しておりますが、本市におきましても、関係機関と連携し、教室以外でも安心して学べる居心地の良い環境づくりを行って参りたいと考えております。具体的な取組みにつきましては、実施計画等で表現して参りたいと考えております。
12	基本計画	-	中央体育館がとても古いので、新しくたてかえてほしい	橿原運動公園の北東部に新体育館を整備予定です。なお、整備後は現在の中央体育館は解体を予定しています。
13	基本計画	-	以前は市民プールが営業していたが、現在は営業していない。営業してほしい。市民の憩いの場が必要であると思います。	ご意見として承ります。
14	基本計画	-	卓球が好きなので、卓球台をたくさん買ってほしい。	ご意見として承ります。
15	基本計画	-	体育館のエアコン使用について、今年はとてもあつかったので、もう少し温度を下げてほしい。	ご意見として承ります。
16	基本計画	-	子どもが国スポ・全スポに向けて現在トレーニング中です。奈良県で開催されるのを心待ちにしています。	ご意見として承ります。
17	基本計画	-	お世話になっています。職員のみなさん頑張ってください。毎日とても暑いのでどうかしてほしい。	ご意見として承ります。
18	未来戦略	-	日本国はじまりの地橿原は、イメージとしてはいいですが、子育て世代には魅力は疑問ですね。もっと生活に密着した課題に予算を。僕は高齢者の1人ですが。	ご指摘の通り、子育て世代への魅力の向上は、未来を形づくるうえでも重要な視点となります。橿原市に住む魅力を向上させる施策や情報発信について、今後も検討・実行して参りたいと考えております。
19	未来戦略	5	戦略は、本市の強みとして「奈良県立医科大学を中心とした最先端の医療環境」を挙げ、「住みやすさ」の維持・向上を目指しています。しかし、この中核である奈良医大において、産前休業中の女性医師が上司からの連絡で職場に出向き、転倒・帝王切開に至ったにもかかわらず、大学側がハラスメント相談を「上司に一切悪意はなく」として退けるという重大な事案が報道されています(https://voiceofnara.jp/20250824-news1224.html)。貴市が医療環境を強みとして活かすには、単に設備の充実だけでなく、そこで働く職員、特に妊産婦の安全配慮義務と人権が確実に保障されているかが不可欠です。本市の施策パートナーである同大学に対し、県と連携しつつ「健幸」公正なハラスメント対応体制の構築について、連携を通じて指導・検証する視点を加えるよう要望します。公立大学法人は法律上県の管轄ではありますが、市も施策パートナーとして連携するには、労働施策の総合的な推進に関する法律の措置義務を果たしていることを定期的に証明させると言った毅然とした対応で臨んでいただきたいと思います。	ご指摘の内容は非常に重要であると考えております。安心という観点からも、奈良県と連携しながら、ハラスメント防止等の啓発の施策に取り組んで参ります。具体的な内容に関しましては、実施計画等で表現して参りたいと考えております。

番号	考え方の視点 となる項目	ページ数	ご意見内容の要旨	本市の考え方
20	未来戦略	12	基本目標④「安心して健康に暮らせるまちづくり」の取組み例に「奈良県立医科大学との連携の実施」が挙げられています。前述の奈良医大の事案では、母子の安全が脅かされた深刻な結果(転倒、破水、帝王切開)に対して、大学の内部相談が加害者の主観である「悪意の有無」妊娠・子育て中の職員に対する安全配慮義務の履行を事業者を求める項目を明示的に追加し、「安心」の基盤を強化すべきです。	ご指摘の内容は非常に重要であると考えております。安心という観点からも、奈良県と連携しながら、ハラスメント防止等の啓発の施策に取り組んで参ります。具体的な内容に関しましては、実施計画等で表現して参りたいと考えております。